

とよま



特集/美しく住みよい環境をめざして
とよま環境財団スタート

ジェットコーナー
主要イベントが決定

県庁探訪/消防防災課

ふるさとみてある記/土平村

'91出会いふれあいの道フェスティバル(8月9日マリエとやま前にて)



季節 漁師

陶芸家
釋永由紀夫

いのかも知れない。しかし、泳ぐ二匹を見て
いると、遊び戯れている様にも見えるので友
釣りと呼ばれるのかも知れない。

友釣りを覚えて間もない頃、岐阜県の宮川
で直経三メートル程の大きな石に、無数の若
鮎達が群れて、一斉に水ゴケを食みだすのを
目にした時がある。水中でキラキラと光り重
り合う魚体を、この上なく美しいと思った。年
魚とも呼ばれ、四季の移ろいの中で一生を終
える儚さと思うと、その輝きは神秘に感じた
ものだ。この時は、釣るのを忘れて、小一時
間、彼らを見ていた。

アユの話をすると、相手の十人の内、九人
までは、「誰が、上手か下手か。沢山釣れたか
釣れないか。」などの話題に発展する。なる程、
鮎イコール釣りー釣りはスポーツの内、と考
えれば、技術や釣果が重要な問題ではある。
しかし、その事を離れて、山合いの溪谷で、
野鳥のさえずりを聞きながら、糸を垂れてい
る時、「自然の中で友釣りをしている。」と言
う自らの行為、そのものが嬉しく思えてくる。

釣果を忘れ、竿を持ち清流にひたる。自ら
が、水に一木一石一草と渾然一体となり、ア
ユの気配を読む。

生涯を「春生れ、夏長じ、秋衰えて、冬に
死す。」夏アユの利那に輝く一時を、竿先に感
じつつ、自然の営に参加する所に、ボクの友
釣りの大きな喜びがある。

今年、長梅雨で、夏は短く、秋は早いだ
ろう。例年、竿持つ手に、秋風を感じた時、
釣期を残して竿を畳む事になっている。

六月に入ると、野山の新緑は、日に日に色
を深め、湿潤な空気は風となり、川のせせら
ぎを響かせる。

ボクは鮎の友釣りを好む。海や池の他の釣
りには大した興味を持たないが、いざ、「お鮎
様」となれば、毎年毎年、解禁日待ちわび
夢中になる。梅雨の最中は別として、晴れの
日などは、居ても立ってもおられない。連日、
竿を片手に河原へと急ぐ。夏は、アユを追う
「季節漁師」と自称している。

友釣りは、エサで魚を餌える漁法とは違う。
あらかじめ手に入れたオトリ鮎に、鼻環など
を通し系につなぎ、その後流し釣をつけ川
に放つ。自然に泳せながらも、竿先でオトリ
鮎の動きを操作する。すると附近に居を構え、
なわばりを持っていた野アユが、その本性か
ら、オトリ鮎を追い払おうとする。やつきに
なつて体当りを試みているうちに、流し釣に
体がついてしまふのである。

友釣りと言うより、敵釣りとした方が正し

ひと
アス
とやま



優勝目指して、放水はじめ!

全国婦人消防操法大会出場 女良地区婦人消防隊

「もう一回初めからやりなおし。」「もっと大きい声出さんか。」
「ヤル気あるが、しっかりしろ」男子消防隊員の大きな声が暗
闇に響き渡り、緊張感がグラウンド全体を包む。

ここは、氷見市の最北端に位置する女良小学校グラウンド。時間
は夜八時。グラウンドでは婦人消防隊員が真剣な表情で、消防操法
の訓練に取り組んでいます。きびきびとした動作で、アツという
間に、軽可搬ポンプにホースを三本をつなぎ、放水体制に入る。
全速力で走っているせいか、数メートル離れていても、激しい息
づかいが聞こえてきます。気迫あふれる訓練に近所から見に来て
いる人たちが、大きな拍手を送りました。

女良地区婦人消防隊は、この十月に横浜市で開かれる第七回婦
人消防操法大会に、県代表として出場します。このため、現在週
四回、午後八時から九時半まで、厳しい猛訓練が続けられていま
す。大会では丸山光代隊長が、県代表としては初めて、総指揮者
として全国からの参加者に号令を掛けることになっており、隊員
たちはより一層燃えています。

メンバーの年齢は二十代から四十代と幅広く、その職業も主婦
・保母・看護婦、会社員と様々です。それぞれ家事や育児、仕事の
合い間をぬっての訓練だけに、家族の協力も欠かせません。それ
だけに家族や地元からも大きな期待が寄せられています。

「昨年優勝した新浜市海老江地区婦人消防隊に負けないよう
に、上位入賞を狙いたい。」と言う丸山隊長。その表情には、豊富
な練習量に裏付けされた自信がうかがわれます。来月の横浜大会
に向けて、放水準備完了!





交流広がる 夏の一日

コロネット「夏の親睦会」

イベントを通して、魅力ある地域づくりを目指す富山県コロネット計画。県内の各地域でイベントを実践している各種のグループや団体の参加のもと、今年二月にコロネットイベントネットワーク委員会（略称コロネット）が設立されました。

そしてこの夏、グループ相互の交流を図り、そのネットワークをさらに広めようと、富山市四方八重津浜で初のコロネット・イベント「夏の親睦会」が開かれ、家族連れや若者のグループなど、多くの人でにぎわいました。マリッジットや参加者はバナナボートに乗って、そのスピードに熱狂したり、クルーザーやヨットに乗って、のんびり景色をながめたりと、最新のマリンスポーツを十分楽しんでいました。また、バーベキューパーティーも開かれ、イベント談議に花を咲かせていました。



新とやま女性プランに望む

県民シンポジウム
主催 富山県



谷内清子さん 山下隆司さん



情野将弘さん 齊藤正美さん



女性の地位向上をめざして

県民シンポジウム「新とやま女性プランに望む」開催

男女共同社会の実現をめざし、八七年に策定された「とやま女性プラン」。今年で五年目になりますが、この間の社会情勢の動きや県民の意識の変化に合わせて、現在県ではプランの見直しを図っています。その一環として、七月二十日、県教育文化会館、「新とやま女性プランに望む」と題した県民シンポジウムが開催されました。

この日は、約五百人が参加。まず最初に行われたパネルディスカッションには、タウン情報とやま編集長の山下隆司さんをコーディネーターとして、婦人地域活動推進員の谷内清子さん、富山大学一年生の情野（せいの）将弘さん、そしてメディアの中の性差別を考える会代表の齊藤正美さんの三人がパネラーとして参加。それぞれの立場から同プランに望むことなどが提言されました。

その後、日本経済新聞編集委員の藤原房子さんが、「変革と行動のために」と題して講演。女性の目から見た理想的な共同社会と、男性の目から見た場合とは、若干違うはず。女性の意見を押し通そうとすれば必ず摩擦が生じると思いますが、それでも女性の目加わること、社会に新しい価値観が根づく、などと話され、女性が積極的に社会に進出していくことの大切さを強調しました。



熱く語る、
藤原房子さん





華麗に力強く技競う

'91東日本ジュニア体操選手権



七月二十六日から二十九日の四日間、県総合体育センターにおいて、'91東日本ジュニア体操競技選手権が行われました。初の富山開催となったこの大会には、東日本地区の十五道県から約四百八十人が参加しました。

小学二年生から中学三年生までの各選手は競技レベル別に男女A、Bクラスに分かれ、あん馬、跳馬、床、平行台などに得点を競いました。また最終日に行われたジュニア体操選手権予選では、全日本大会への出場をかけた、難度の高い技が次々と飛び出すなど、華麗で迫力のある演技が繰り広げられました。



木彫りを通して世界をつなごう!

いなみ国際木彫刻キャンプ開催



信仰と木彫りの里として知られる井波町で、七月二十二日から八月十日までの二十日間、「いなみ国際木彫刻キャンプ」が開催されました。会場となった閑乗寺公園には、日本を含め世界五大陸十二カ国から、二十名と二グループの彫刻家たちが一同に会し、原木から作品完成までの制作活動を公開で行いました。

開催期間中たくさんの方が訪れ、制作に取り組んでいる彫刻家の真剣な表情に見入ったり、制作風景をカメラに収めたりしていました。

なお、完成した作品は九月十日まで、同公園内で一般公開されています。

とやま環境財団スタート

水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、さらによりよい環境をつくっていくこと。これは私たちに課せられた大きな責務です。

●特集● 美しく住みよい環境をめざして



最近の環境の状況を見ると、産業活動に伴う公害については、以前に比べかなり改善されていますが、一方で生活様式の高度化などにより、台所からの生活排水、自動車の排気ガス、道路や公園における空き缶やゴミの散乱など、都市生活型公害の比重が高まっています。とりわけ、廃棄物は量の増大、質の多様化のため、適正な処理が困難となってきたことから、廃棄物の減量化、リサイクル等を含めてその対策を急ぐ必要があります。

こうした中で、全国屈指の植生自然度を誇る富山県の恵まれた環境の保全を図り、ひいては地球環境の保全に寄与するために、これまで以上に県民一人ひとりが環境にやさしいライフスタイルに努めるとともに、より積極的に地域の環境保全活動に参加していくことが重要です。

真に豊かな生活環境の実現のためには、足元から地球規模までの幅広い環境問題に対して、県民、企業、行政が一体となって地域に根ざした環境保全活動に取り組んでいかなければなりません。

このため美しく住みよい環境を目指して、この七月に県、市町村、民間の力を結集した、「とやま環境財団」が設立されました。この財団を紹介するとともに、三つの事例を通して、より快適な環境をつくるにはどうすればいいのかを考えてみましょう。



講演会等の開催及び指導者の養成



環境保全意識の高揚を図るための講演会、バス教室及び指導者の養成等各種啓発行事を開催しています。

県土美化・リサイクル運動の推進

清掃美化大会の実施や廃棄物減量化・資源化の運動を推進しています。



環境保全活動に関する相談及び指導

環境保全活動の普及啓発を進めるため、情報提供や相談を行っています。また、県下各地での環境教育、啓発の催しに講師を派遣しています。

（とやま環境財団はこんな仕事をしています）



財団では環境保全活動等に関する相談及び指導、活動団体等の育成のほか、資源リサイクル等の県民運動の推進など、地域に根ざした環境保全活動を展開しています。

ビデオ 図書の出し

講演会、研修会、市民の集い、学校の授業などに好適な映像教材や図書の貸出しをしています。



環境教育資料の作成及び配布

環境問題を分かりやすく解説した印刷物の作成や配布を行っています。

環境保全に関する調査・研究

自然科学、社会科学の広い分野にわたる専門家の協力により、調査研究を行っています。

環境保全活動団体への支援



モデル的な環境保全活動に対して、活動資料の提供や助成を行っています。

賛助会員がやってくれる「とやま環境財団」

財団が県民皆さんのものとして育てていくよう、広く財団の目的に賛同する個人、法人の方々を賛助会員として募集しています。

- 入会受付
- 年会費 個人 二〇〇〇円 法人・団体 一〇一〇、〇〇〇円
- (2) 会員特典
- 機関紙の定期的配布
- 環境資料の提供
- 環境保全関連商品等の紹介
- 各種研修講座・講演会等への参加
- 財団が行う調査研究成果の提供

問合せ先 ☎ 0764-314607



牛乳パックは大切な資源です

富山みどりの会代表
佐々木桂子さん



「三年前、WWF（世界自然保護基金）に出席したとき地球が自然環境の破壊によって、いかに深刻な危機に直面しているのを知り、大変ショックを受けました。地球を守るために、自分でも何かできないかと考えた末、身近な牛乳パックの回収を始めました。とても優しい笑顔で語る佐々木桂子さん。現在、富山市内で精力的に牛乳パックの回収活動続ける富山みどりの会の代表として頑張っています。

佐々木さんはまず半年間、自分の家の牛乳パックがどれくらい溜まるのか確かめてみました。その結果、重さにして五五キロほどになりました。これは六〇メートルのトイレットペーパーで約二十七巻となり、人間一人が一年間使える量だそう。しかし、パックを回収してくれる業者がいなくて困った佐々木さんは、新聞の読者欄に仲間づくりを訴えた投稿を行いました。これが大反響を呼び、多くの仲間が集まりました。そして、お互いいろいろな情報を交換することにより、何とか、回収ルートを見つけ出すことができたそうです。平成二年五月十四日、三十七名の有志によ

地球にやさしいリサイクル

ヒラキストア社長
開 麻佐巳さん



「湾岸戦争などにより、地球的規模の自然破壊が急速に進むのを見て、地球がとても危険な状況にあると思い、何か物売る立場から考えなくてはと、トレーの回収を始めました。五月にオープンした、ヒラキストア大坪店で、社長の開麻佐巳さんに、トレー回収の動機について伺いました。ヒラキストアは、二月に戸出店で北陸では初の食品トレーのリサイクルを始めました。食品を包装するトレーは、各家庭からほとんどゴミとして出され、しかも燃やすと高温になるために、ゴミ消却炉を壊したり、大気汚染などの原因ともなっており、消費者から牛乳パックと同じように、回収を求められる声が強まってきました。この要望に応えるため、同ストアでは、広島でトレーのリサイクルを開発した食品容器メーカーと提携して回収に乗り出しました。一カ月で七万二千枚、

五月には、何と一カ月で十八万九千枚も集まり、大変な反響です。」と、専務の高田清治さん。六月一日からは、ヒラキストア五店全部でトレー回収を始め、順調な滑り出しのことです。現在の回収システムはトレー十枚で十円、牛乳パック十枚で五円、ポイント五〇〇円で五〇〇円の買い物引券を進呈しているとのこと。買い物客にも大好評のようです。「スーパーで買ったら、スーパーへもどすという具合に、社会のリサイクルシステムづくりを進めていくことが必要ではないでしょうか。熱い口語で力説する開社長。大坪店前には空き缶を投げ入れる「くろかん鳥」が設置され、ゴミ一つなく、大変清潔な感じがしました。このヒラキストアのリサイクル、ゴミ減量への挑戦に、多くの人が共感して、今、トレーリサイクルの輪が大きく広がろうとしています。

家庭排水から川を守ろう

富山生活学校代表
徳舛 正枝さん



「富山のきれいな川や海が、生活排水によって汚されています。現在、県全体で川や海へ排出される汚れの量のうち五十四パーセントが、家庭からの排水によるものです。主婦の立場から、もっと水質環境を守る努力をしなければならぬと思います。」富山市新庄の主婦徳舛正枝さんは、富山生活学校の代表として、家庭排水の処理対策や、水質環境保全の啓発活動など、大変多忙な日々を過ごしています。「十年ほど前に、富山県消費生活センターの呼び掛けで、廃油によるせつけんづくりに参加しました。そして、その後も自ら作って使用したり、多くの人に作り方を教えてきましたが、このところの環境ブームやリサイクルブームで再び注目を集め、大変喜んでいきます。これが定着していけばいいですね。」と楽しそうに語る徳舛さん。廃油のリサイクル活動の面からも家庭排水を考えています。

富山生活学校では、食事の後片付けの排水の汚れ量を、いろいろな洗い方や料理の種類ごとに測定、きめ細かいデータを作成して、説得力のある啓発活動を行うなど、積極的に環境保全に取り組んでいます。今後は、台所の雑排水とゴミ取りをより完全にす

る富山みどりの会がスタートし、六月から三カ月毎に一回、現在まで五回の回収を行いました。一回に千キロ以上のパックが集まることもあり、市民の間ではこの回収が、周知、定着化してきました。「この運動を単なるブームで終わらせたくないですね。そのために、物をつくる人、売る人、買う人そして行政の四者が手を結んで、パック回収のシステム化を進めていかなければなりません。自ら率先して環境にやさしい生活を実践している佐々木さん。それだけに大変説得力があります。現在、パックを再利用した手すきはがきの制作、指導も行っています。「このはがき作りを通して、物を作る大変さ、そして、大変な故に、出来上がった物の大切さを感じてもらえれば。」という佐々木さん。今後、このはがき作りなどを通して啓発活動を行い、価値感の意識革命を図りたいとのこと、今後の活動に大きな期待が寄せられています。



消防・防災の役割は、火災時の消火活動や急病人を病院へ運ぶといった一般によく知られていることばかりではありません。風水害や地震などの災害を未然に防ぎ、あるいはこれらの災害による被害を最小限にとどめることによって、県民の生命や身体、財産を守るという大きな役割を担っています。そのため、実際に行われている消防・防災の活動は極めて広く、また私達の生活にとって必要不可欠なものなのです。こうしたことから、消防防災課では、消防組織の強化や、救急救命士の養成など、県民の安全なくらしの確保のため、力を注いでいます。

県民【守】

レポーター：



▲内蔵総務部参事(消防防災課長)

皆さんは、富山県の出火件数、出火率が、全国で一番低い県だということをご存じでしたか。…ということは、火事や事故がなければ、消防の仕事はないのかな？という浅はかな考えを、私はもっていました。しかし、今回消防防災課を訪れ、その仕事の多さに大変驚きました。それでは、私が見て感じたことを交えながら、消防・防災の仕事を紹介しましょう。

消防防災課は、予防、消防、防災の三つの係に分かれて仕事をしています。火災が少くないという理由のひとつに、富山県民の防火に対する意識が強いということがあげられます。予防係では、幼年、少年消防クラブなどの育成を図り、小さい頃から火災の恐ろしさを呼びかけ、また県民の防火の意識を高めるために消防訓練など様々な火災予防運動を展開しています。その地道な活動により、年々消防クラブの人数は増えて

ために

寺 ゆかり(ミスメルヘン)

二十一世紀に向けての消防活動

皆さんは、富山県の出火件数、出火率が、全国で一番低い県だということをご存じでしたか。…ということは、火事や事故がなければ、消防の仕事はないのかな？という浅はかな考えを、私はもっていました。しかし、今回消防防災課を訪れ、その仕事の多さに大変驚きました。それでは、私が見て感じたことを交えながら、消防・防災の仕事を紹介しましょう。

消防防災課は、予防、消防、防災の三つの係に分かれて仕事をしています。火災が少くないという理由のひとつに、富山県民の防火に対する意識が強いということがあげられます。予防係では、幼年、少年消防クラブなどの育成を図り、小さい頃から火災の恐ろしさを呼びかけ、また県民の防火の意識を高めるために消防訓練など様々な火災予防運動を展開しています。その地道な活動により、年々消防クラブの人数は増えて



▲気象協会から随時送られてくる気象情報

消防・救急のエキスパート養成



次に訪ねたのは、富山県消防学校です。ここは、消防職員や消防団員に、消防の責務や、消防防災に関する専門的知識と技能を教えるほか、



▲消防学校の授業風景

体力・気力の増進を図り、県民の信頼に応えることのできる消防人を養成しています。

新たに消防職員となる人は六ヶ月間の全寮教育を受け、基礎的な消防業務の知識や技能を修得してから職務につきます。そして数年職場経験を重ねた後、消防、予防、救急などの専門的な仕事を任ずるために必要な高度な知識・技術を身につけるため、ここで再び学びます。

実際に、私がお邪魔したときは、六ヶ月間の初任科教育を受けている平均年齢十九・八歳の二十六人の若い方々がいらっしゃいました。



▲消防学校山本校長と

ちょうど授業中で、消防実務六法という分厚い辞書のような教科書を手には、先生のお話を、真剣な眼差しで聞いていました。一日のスケジュールを拝見したところ、朝六時半から夜十時までじっくり話っていました。

山本校長先生のお話では、「生徒も初めは、途中で挫折しそうになるけれど、それを乗り越え、六ヶ月たつ頃には、一回りも二回りも消防人として、また人間として成長している」とのことです。そして、卒業式には、みんなで肩を抱き合い、ひとつのドラマが作りあげられるのです。

今日も、消防学校では、厳しい訓練が行われています。県民の生命、身体、財産を守る消防人を育てるために、学校側も、全力投球しています。

これに反比例するかのようには、火災は少なくなっているそうです。予防係では、この他、ホテルやアパートなどの消防用設備の設置や点検なども、行っているそうです。

消防係では、県民の高まる救急への要望にも応え、二十一世紀に向けてのいきいきとした消防組織づくりをめざしています。

今年十一月には、救急救命士の養成のため消防学校に、全国ではじめての救急幹部科が



新設される救急救命士は、従来よりも高度な応急処置が救急車の中で行えるので、「医療の空白の時間」が解消され、重症患者の救命率の向上が期待されています。今、消防の抱える問題として、若い消防団員の不足があげられます。そこで勤務条件の改善や女性消防団員の採用を行うなど、ソフトで魅力ある消防のイメージづくりと活性化を図っています。



▲消防訓練
しをする仕事をしています。現在は、防災係では、あらゆる災害から県民のくらしを守る仕事をしています。現在は、



おわら風の盆

哀しげな胡弓の音が
人々を誘い
流麗な舞いが
人々を魅了する



夏のおわり
坂の町は
別世界を創り出す

JET'92主要イベントが決定!!

ホットな夏をさらに熱く盛り上げる催事の
主役はあなたです
催事参加募集!!

会場全体で人と人とが感動と喜びを分かち合い、心をつなげる「祭の輪」を企業、団体、サークル、個人等あなた自身の参加で創造しませんか。

■催事参加の形態は……

- ★協会が企画する催事に、キャストとして出演していただいたり運営面で物的・人的なご協力いただく等の形態があります。
- ★独自に企画された催事を、企業の広告宣伝のために実施していただいたり、皆様の発表の場として実施していただく等の形態があります。

■催事参加の方法は……

- ★催事参加申込書を協会へ提出していただきます。
- ★協会は内容等を検討し参加の認否を決定いたします。

■催事参加の詳細は……

- ★催事参加条件等の詳細は、協会催事部までご連絡ください。
- ★「催事参加のご案内(エントリーガイド)」・「催事参加申込書」は、各市町村の窓口、文化会館、有名楽器店にあります。

富山ジャパンエキスポ協会 催事部
TEL 0764-41-8000

▼富山国際アマチュア演劇祭



▶ダブル・ダッチ・ジャンプ・ロープ・ショー



▶国際・ランバージュ・ジャンプ・ショー

★その他、「日本・スイス・アルプスフェア」や「富山国際アマチュア演劇祭」の参加が決定しており、今後も、子供から大人までが一緒に楽しめるすばらしい企画が続々と登場します。



「第1回ジャパンエキスポ富山'92」の主要イベントが、7月5日、名鉄トヤマホテルで、服部克久催事プロデューサーから発表されました。主要イベントは、次のとおりです。

ステージイベント

1「環日本海コンサート」

とやま 魚山都の国から

(公演予定：7月11日)

中国・韓国・日本の音楽家とソ連沿海地方及び富山県内民俗芸能団体がジョイントしたコンサートをくりひろげます。

2「国際子供音楽祭」

ソング・フォー・チルドレン
「素敵は笑顔に
出会いたい」

(公演予定：8月8日)

アジアの子供達が21世紀に歌い継がれる子供達の歌を世界に向けて発信します。

ベーシックイベント

1「インターナショナルランバージュ・ショー」

ランバージュ・ショー

(公演予定：7月11日・31日)

ランバージュ・ジャック(木こり)によるオノの早切りやスピード木登りなどのショー。

2「ドッグ・フリスビー・ショー」

人と犬によるフリスビー(フラスチック製円盤を投げ、捕まえる)ショー。

(公演予定：8月1日・10日)

3「ダブル・ダッチ・ジャンプ・ロープ・ショー」

二本のロープの間を強烈なミュージックに乗りパフォーマンスを行うアメリカ版の縄跳びのショー。

(公演予定：8月11日・20日)



▶日本・スイス・アルプスフェア



来年が、ますます楽しみになってくる。映像であなたもJET'92に参加しませんか。

JET'92富山県館「とやまワンダーランド」の映像シアター上映写真○募集

- テーマ 次の4つのアングルで撮影したもの
 - ①誰も気付かなかった富山
 - ②いままで知らなかった富山
 - ③富山の新しい表情
 - ④わが愛する富山
 - 応募資格/富山県を愛する人ならどなたでも
 - 応募方法/応募票は最寄りのカメラ店にあります。
 - ・35ミリポジフィルム(横位置)一人何点でもかまいません。
 - 締切/◎第1期：11月30日
◎第2期：平成4年3月31日
 - 表彰/採用者には記念品を贈呈します。応募者全員の氏名を「とやまワンダーランド」内に公表します。
- ※その他詳細については、県庁博覧会推進局までお問い合わせ下さい。



3「ファルス・ファンタジア」

国内外のファルス(道化)の達人たちによる至芸の数々を、会場全体で展開します。

(公演予定：8月21日・26日)

ふるさと
みてある記

上平村

上平村がふるさと創生事業として建設をす
めてきたAV（視聴覚）室のある菅沼トンネル
と、「籠の渡し」がこの七月に完成した。トンネ
ルの真ん中に映像ホールをつくるというアイデ
ア、どこから出てきたのだろうか。農林観光課
長の生田良三さんに話を聞いた。

自然空調の映像シアター 新名所「菅沼トンネル」



▲菅沼合掌集落



▲「四季の五箇山」の三種類の映像は「五箇山の民謡」の座席が備えられている。また、音声の反響を防止するため、周りの壁には吸音、反射防止壁が張られている。

「ただ長いだけのトンネルをぶらぶら歩いてもらうんやったら、せつかくやからトンネルの中も涼しいことやし、ちよつと休んでもらって、五箇山のいろんな魅力を映したレーザーディスクを見てもらおうと思たんですよ。菅沼合掌集落と青少年旅行村・合掌の里を結ぶ長さ百二十メートルもあるトンネル。その中央部にあるAV室には、百インチのスクリーン、映写機、音響装置のほか、五十人分の座席が備えられている。また、音声の反響を防止するため、周りの壁には吸音、反射防止壁が張られている。

菅沼橋のたもとに造られた「籠の渡し」は、かつて五箇山の庄川沿いで、実際使われていたものが復元された。庄川の兩岸に張られたロープの中央に、籠に乗った人形がぶら下がっている。右岸には、記念撮影用の籠もある。トンネルをくぐると、そこに合掌造りの家や籠の渡しが見える。なんかタイムトンネルのようやね」と生田さん。静かな合掌造りのたたずまいに、また新名所が増えた。

かぼちや料理の オンパレード

かぼちや祭り

八月十日、今年も菅沼合掌集落の駐車場で、「かぼちや祭り」が開催された。このお祭りは、地元でとれるかぼちやを使った料理やお菓子、その他にも鮎や岩魚の料理なども味わってもらおうと毎年開かれているもので、今年で九回目となった。

「お祭りに使うかぼちやは、全部青年団が世話をしている畑でとれたものなんです。今年は、五、六十個使いましたかねえ。中谷栄伸さんは、毎年かぼちやまつりを企画している地元青年団の事務局長。今年も、五月頃から準備にとりかかった。料理は、いつも食生活改善推進員の方々に作っていただいているんですが、好評ですね。県外から来られた観光客の皆さんも、お腹いっぱいかぼちやを「満喫」して帰っていかれます。



▶籠の渡し

湯けむりと厚い人情に包まれて 山里のいで湯・村営くろば温泉

平成元年七月、庄川河畔に村営のくろば温泉がオープンした。美しい景観を眺めながら、ゆっくり温泉につかり、一日ゆったりリラックスできる施設である。



▲いろんな料理が味わえるレストラン



▲リラックスルーム

「うちの温泉は、今年でオープンして二年になるんですが、これまで延べ八万人の利用客がありました。そのうち半数以上は、県外からの観光客なんですよ。」とこやかに話すのは、くろば温泉の支配人、竹中光一さん。一階は、サウナや露天風呂など五種類の風呂が楽しめる浴場と休憩室、そして二階は五箇山の山菜料理から洋食まで、様々な料理を味わうことのできるレストランになっている。裸のつき合いと言うんですかね。ここで地元の人と観光客の人が、ひと風呂浴びてさっぱりしたところで、ビールを飲みながらしゃべつとられるのはよく見かけますね。団体客には無料送迎バスを出したり、ガウンやタオルなども低料金で貸し出したりと、



▲広々とした浴場



上平村の概要

人口 1,056人(7月1日現在、県人口統計調査より)
面積 94.19km²

合掌造りと民謡のふる里、上平村。菅沼合掌集落や五箇山民俗館など、昔の生活様式がうかがえる。
また、県境の飛越峽合掌ラインは、7色に塗られた町のかけ橋になっている。



▲かぼちや祭り



◀青年団事務局長
中谷栄伸さん

よ。村の若い人がこぞって参加できるように行事が少ないだけに、中谷さんはこのかぼちや祭りを、もっともっと大きくしたいと考えている。かぼちやの提灯を飾り、仮装した子供達が町を練り歩く、本場アメリカの「ハロウィーン」をめざし、いつかは、富山県いや日本のはろウィーンへと、その夢は大きくふくらむ。



▲大好評のかぼちや料理コーナー

「うちの温泉は、今年でオープンして二年になるんですが、これまで延べ八万人の利用客がありました。そのうち半数以上は、県外からの観光客なんですよ。」とこやかに話すのは、くろば温泉の支配人、竹中光一さん。一階は、サウナや露天風呂など五種類の風呂が楽しめる浴場と休憩室、そして二階は五箇山の山菜料理から洋食まで、様々な料理を味わうことのできるレストランになっている。裸のつき合いと言うんですかね。ここで地元の人と観光客の人が、ひと風呂浴びてさっぱりしたところで、ビールを飲みながらしゃべつとられるのはよく見かけますね。団体客には無料送迎バスを出したり、ガウンやタオルなども低料金で貸し出したりと、



▲くろば温泉

▶くろば温泉支配人
竹中光一さん

9月10日は 全国下水道促進デーです。



下水道は、快適で文化的な生活を営み、川や海等の自然環境を守るためには欠くことのできない施設です。しかし、平成2年度末の本県の下水道普及率は、まだ、31%に過ぎず、整備の促進が望まれているところです。県では、平成12年度末の下水道普及率の目標を72%に設定し、より一層、下水道事業の推進を図っていくことにしています。今後とも県民の皆様のご理解とご協力をお願いします。



魚津ふれあい警察展



好きです
蟹気楼の街、
守っています
あなたの暮らし

立山くん

9月21日(土)から23日(月)の間、魚津サンプラザ3階イベントホールにおいて「魚津ふれあい警察展」を開催します。BMW白バイ展示、パネル写真展、パソコンゲームや立山くんのぬいぐるみが当たる抽選会など楽しい催し物が盛りだくさんです。

また、21日には警察音楽隊によるコンサートも予定しています。入場は無料です。

問合せ

富山県警察本部 総務課
☎0764・41・2211

9月9日は「救(9)急(9)の日」

9月8日～14日は
「救急医療週間」



あなたの身近で、救急医療に頼らなければならぬ事態が、いつおきるかわかりません。救急医療を正しく理解し、効果的に利用していただくため、次のことにご協力ください。

- 何でも相談できるかかりつけの医師を持ち、急病の際は、まずかかりつけの医師に相談しましょう。
- いざというときのために、応急処置の知識や技術を身につけておきましょう。
- 救急車が必要と判断したら、あわてず落ちついて一一九番にダイヤルしましょう。
- 住所や場所、近くの目標物まで、くわしくはつきりと知らせましょう。
- 病人、ケガ人の状態を的確に説明し、消防署員の指示に従いましょう。
- より重症な救急患者が直ちに利用できるよう救急車の安易な利用は避けましょう。

台風シーズン到来

～備えはできていますか～



「備えあれば、
憂いなし」です。

災害から身を守るには、県民一人ひとりが関心を持ち、「家族ぐるみ」「地域ぐるみ」で身近な防災に取り組むことが大切です。

いま一度気を引締め、来るべき台風シーズンに備えましょう。

本県は、災害の少ない県として知られていますが、昨年の9月には、台風19号の大雨による山崩れなどで2名の方が亡くなったほか、建物や道路などにも多くの被害を受けました。このように県内には、災害の発生しやすい危険箇所がまだ身近にありますし、また、災害は予想もしない場所でも発生するおそれもあります。

秋山遭難事故を防ごう



9月になると3,000メートルの山々では、紅葉がはじまり、短い秋が駆け足でやって来ます。秋山登山をされる方は次のことに注意して下さい。

○ 天気の変化に注意！

9月中旬から秋雨前線が発生し、台風の影響を受けて大雨を降らせませす。雨具、防寒具を必ず携行しましょう。また、低気圧通過後は気温の低下が急激で、雨からミソレ、初雪へと変化します。一昨年10月の立山の大量遭難を忘れず、天気の下り坂の時は慎重に行動して下さい。

○ 滑落注意！

雪渓では、雨が降った後凍結し、ガラスのように滑りやすい状態になります。ピッケル、アイゼンを携行し、滑落に注意してください。

富山県近代美術館企画展

「現代日本美術の動勢—立体造形」



「現代日本美術の動勢」展は、日本の現代美術を継続的に紹介する企画展です。これまでに開催した絵画に続き、今回は立体造形の分野に焦点をあてて開催します。

日本の現代美術は、今日、国際的に数多くの展覧会で紹介され注目をあつめています。中でも一九八〇年代以降、立体造形作家たちの活躍が目ざましいものがあります。そうした作家たちの中から23人を選抜招待し、意欲的な大作30数点を紹介します。

●会期 9月14日(土)～10月27日(日)
●観覧料 一般770円、高大生560円、小中学生330円(20人以上の団体は割引料金)
●休館日 月曜日、祝日の翌日。ただし、月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日は休館となります。

富山県立近代美術館 ☎0764・21・7111

秋の特別企画展

「茶の美 茶の心」茶の湯の名碗と煎茶道具展

我が国が世界に誇る伝統文化「茶の湯」。本展は、茶の湯の為の道具「茶道具」のなかでも、特に茶碗を中心として、古今の名品により、茶道文化をたどる展覧会です。

●会期 9月13日(金)～10月6日(日)24日間
●会場 富山県民会館美術館
●入場料 一般一、二〇〇円(前売一、〇〇〇円) 高大生七〇〇円(五〇〇円) 小中生五〇〇円(三〇〇円)
()は団体料金

富山県民会館文化事業課 ☎0764・32・3111(代)

希望の集い

県教育委員会では、毎年県内の盲学校・ろう学校・養護学校及び小学校特殊学級の5・6年生が一同に会して、日頃の学習活動の一端を発表し合い、互いの友情を深めたり、優れた芸能を鑑賞する「希望の集い」を開催しています。

心身に障害をもちながらも、可能性にチャレンジしている子供たちに対し、県民のみならず力強い励ましと、御理解を得たいと考えておりますので、広く県民のみなさんの参加をお待ちしております。

●期日 9月27日(金)
●時間 12時50分～15時20分
●会場 富山県教育文化会館大ホール
●内容 特殊教育諸学校児童の学習発表 人形劇ブックによる人形劇

富山県教育委員会指導課 ☎0764・44・3451

「乳幼児をもつ親のつどい」の開催案内

教育、保育、医学、心理学の専門家が、乳幼児期の子育ての悩みやポイントについて直接、個別に助言します。この機会にぜひ両親でご参加下さい。日程は左記のとおりです。

●10月8日(火) 魚津市道下公民館
●10月11日(金) 小矢部市総合会館
●10月23日(水) 上市町生涯学習会館
●11月12日(火) 氷見市中央公民館

時間、申込み要領等詳細については、開催地市町村教育委員会にお問い合わせください。



教育、保育、医学、心理学の専門家が、乳幼児期の子育ての悩みやポイントについて直接、個別に助言します。

まちづくり標語募集

- 1、目的 まちづくりに対する住民の関心を高め、よりよい快適なまちづくりを推進します。
- 2、募集対象 一般の部と児童・生徒の部(中学生以下)の2部門に分かれています。
- 3、応募方法 ハガキ一枚に一点とします。住所・氏名・年齢・電話番号・性別・職業(学校名、学年)・応募部門・作品を記入願います。
- 4、締切 9月30日
- 5、応募先 〒1002 東京都千代田区紀尾井町3の32(財都市計画協会内) まちづくり月間実行委員会事務局まちづくり標語懸賞募集係まで



6、表彰 入賞作品は、平成4年1月に決定し、通知します。また、平成4年6月に表彰式を行い賞状と副賞を贈呈します。

富山県庁都市計画課 ☎0764・31・4111 内線4174

私のまち写真コンテストの実施

- 1、目的 写真を通してまちづくりの重要性を訴え、住民の積極的参画と理解を得て、うるおいのあるまちづくりを推進します。
- 2、募集内容 ①一人何点でも応募可能です。②未発表作品に限ります。③サイズは白黒、カラーともにサイバース版以上四ツ切まで
- ④作品には、題名、撮影場所(国内に限る)、撮影年月日、氏名、年齢、性別、住所、電話番号、職業(学生は、学校名、学年)を必ず明記してください。
- 3、締切 平成3年12月末
- 4、応募先 〒113 東京都文京区本郷2丁目17番13号(社)日本交通計画協会内



5、表彰 入賞作品は、平成4年6月に決定し賞状と副賞を贈呈します。また、表彰写真展開催を予定しています。

富山県庁都市計画課 ☎0764・31・4111 内線4174

パソコンビジネス教室の開催

今、最も人気の高いノート型パソコンに触れてみませんか。手軽で便利なノート型パソコンを使いこなすためのノウハウが、一人一台の実習を通して身につきます。(初心者対象)

●日時 平成3年9月25日(水)・26日(木)・27日(金) 午前9時～12時

●場所 富山県情報教育センター(小杉町黒河・県立大学構内) ☎0766・56・7161

パソコン・ミュージック教室の開催

自作の名曲をパソコンで鑑賞しませんか。簡単なパソコンの操作で、作曲・演奏を楽しむことができます。

●日時 平成3年9月18日(水)・19日(木)・20日(金) 午前9時～12時

●定員等 15名(音楽やパソコンの専門知識は不要)・経費無料

●場所 富山県情報教育センター(小杉町黒河・県立大学構内) ☎0766・56・7161

「国際交流の集い」参加者募集

外国人と県民がレクリエーション、討論・意見交換等を通じ、国際理解と友好親善を深めるものです。

●時間 9月21日(土)13時～22日(日)17時

●場所 上平村青少年旅行村・合掌の里

●参加人員 日本人70人(高校生以上)、外国人70人

●参加費 二、〇〇〇円

●応募 往復ハガキに住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記し、9月9日(日)までに左記へ郵送(応募多数の場合は抽選)

(財)とやま国際センター 〒930 富山市桜町1の1の61マリエとやま6階 ☎0764・45・4591

県政の動き

平成3年7月11日～8月10日

7月11日 ソ連極東経済事情視察団結団式
ゆとり推進県民会議



7月13日 富山県母子寡婦福祉大会
7月15日 とやま名誉大使称号授与式
7月16日 富山県青少年保護条例に基づく県下一斉立入り調査
第1回富山県集落営農推進委員会
富山県農業の新規担い手確保対策検討会
7月17日 富山県ゴルフ練習場竣工式



7月20日 薬物乱用防止街頭キャンペーン
県民シンポジウム「新富山女性プランに望む」
7月21日 第40回富山県民謡民舞大会
7月22日 いなみ国際木彫刻キャンプ開会式(～8月10日)
7月23日 平成3年度献血運動推進富山県大会

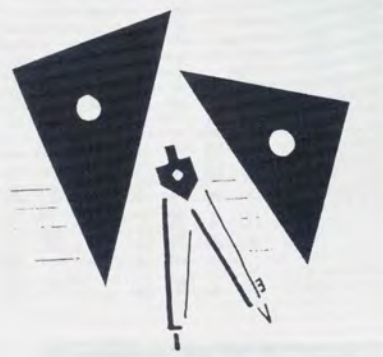


7月24日 知事のまちなまり(～24日)
7月26日 '91東日本ジュニア体操選手権(～29日)
7月27日 海外派遣事業国内研修「知事と語るつどい」
利賀フェスティバル'91開幕(～8月10日)
7月28日 第15回富山県民レクリエーション大会
7月30日 富山県漁協婦人連合会30周年記念式典
8月3日 頼成の森「森林科学館」竣工式



8月6日 知事のまちなまり(魚津市)
8月7日 第12回北信越中学校総合競技大会総合開会式
8月9日 '91出会い、ふれあいの道フェスティバル
8月10日 県民体育大会開会式(～12日)

建築士実態調査



県内在住のすべての建築士(一級・二級・木造)を対象として、実態調査を行っています。この調査は建築士の資質向上のための基礎資料を整備するため、全国一斉に実施しているものであり、御協力をお願いします。

(1) 調査事項 住所、勤務先、業種の種別等
(2) 調査期間 平成4年3月末日まで
(3) 調査票の配布場所及び届出先
・(社)富山県建築士会・各支部
・富山県土木建築住宅課・各土木事務所
(4) 問合せ先
(社)富山県建築士会
富山市愛宕町2丁目4の5
☎0764・33・1254

平成3年10月街頭献血日程

日 曜	場 所	時 間
5 土	J R 富山駅前	10:00～16:00
7 月	富山第一銀行宇奈月支店前	10:00～15:30
12 土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
17 木	氷見市役所前	10:00～15:30
18 金	小矢部市役所前	10:00～15:30
19 土	富山西武前	10:00～16:00
20 日	富山西武前	10:00～16:00
21 月	大沢野町役場前	10:00～15:30
26 土	J R 高岡駅前	10:00～15:30
27 日	J R 福光駅前	10:00～15:30
28 月	庄川町役場前	10:00～15:30
30 水	利賀村役場前	10:00～15:30

※富山県赤十字血液センター(富山市牛島本町)では、毎土曜日の午後にも開所し(祝祭日除)、献血を受付けています。

富山県住みよい家づくり資金融資 申込案内

県では、県内に自ら居住するために、住宅を新築・購入、又は改良される方に対し、低利で資金を融資します。

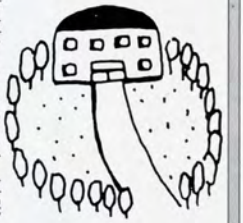
なお、今年度から「長寿社会対応住宅」を融資対象住宅に加え、この住宅を取得される場合は、更に低利で資金を融資します。

① 融資限度額及び償還期間
新築・購入 320万円(20年)
改良・中古 200万円(10年)
ただし、公庫資金の1/2以内に限る。

② 融資金率
一般 6.0パーセント
老人同居住宅、心身障害者同居住宅等一般住宅に適用。
〈特別〉5.0パーセント
長寿社会対応住宅、耐雪住宅、融雪住宅、自然降雪住宅に適用。

※申し込みは、平成4年2月28日まで、各金融機関で受け付けています。
※その他、詳細についてのお問い合わせは左記まで。

富山県住宅供給公社 ☎0764・32・5131(代)
県庁建築住宅課 ☎0764・31・4111
(内線4213)



交通事故相談所の利用

不幸にして交通事故に遭い、お困りの方はおられません。県では、交通事故から生じるさまざまな問題の相談に際するため、交通事故相談所を開設しています。

●相談は無料、秘密は厳守します。



●県庁東別館一階の相談所のほか、県内7カ所で巡回相談を実施しています。
●手紙や電話による相談も受け付けます。
●弁護士のお言葉も受け付けます。(毎週木曜日午後1時から3時まで)
損害賠償の算定、示談の進め方、保険金の請求方法、その他交通事故のことでお困りのことやわからないことは何でもお気軽にご相談ください。

問合せ 富山県交通事故相談所
県庁東別館一階
☎0764・31・4111 内線4400

民事介入暴力集中相談の実施



暴力団を郷土から追放して、明るく住みよい町を築くため、富山県弁護士会と県警察とが合同で9月13日を「民事介入暴力集中相談日」に設定して、暴力団から被害を受けたり、受けるおそれがある方のお困りの相談に、無料で応じることとなりましたので、お気軽に相談にお越しください。

また、遠方の方には、電話による相談も受け付けておりますのでご利用ください。

●開設日時
9月13日(金)
午前10時から午後1時までの間

●場所
★富山会場
富山市西町 株大和富山店5階
★高岡会場
高岡市宮脇町 株大和高岡店6階

●電話による相談
★相談110番(警察本部内)
☎0764・42・0110

表2 エッセイ／釋永由紀夫
 P1 ひと／女良地区婦人消防隊
 P2 クローズアップ

①新富山女性プランに望む
 ②コロナネット夏の親睦会
 ③いなみ国際彫刻キャンプ
 ④東日本ジュニア体操競技大会
 特集／とやま環境財団スタート
 県庁探訪／消防防災課

P10 PIN UP TOYAMA
 P12 撮影／赤羽仁論
 P14 ジャパンエキスポコーナー
 P16 ふるさとみてある記／上平村
 P18 県からのお知らせ

●表紙撮影／滝川邦彦（日本写真家協会会員）

八月九日、「91出合い、ふれあいの道フェスティバル」がマリエとやまで開かれました。式典の後、ストリートパフォーマンスが行われたり、ミスメルヘンらが通行人に風船やパンフレットを配布したりして、道路に対する愛護精神を高めるため、多彩な街頭活動が展開されました。



交通事故については
 富山県交通事故相談所東別館1階
 ☎(0764) 31-4111内759
相談110番
 家庭問題・悪質商法・寛
 せい剤など、どんな相談
 にも応じます。
 ☎(0764) 42-0110
シルバー110番
 高齢者や家族の心配ごと、
 悩みごとに富山県高齢者
 総合相談センター
 富山市舟橋南町5-14
 社会福祉会館内
 ☎(0764) 41-4110

消費生活については
 消費生活センター
 富山市安住町7-18
 安住町第一生命ビル内
 〈一般相談は〉
 ☎(0764) 32-9233
 〈金融相談は〉
 ☎(0764) 33-3252
 消費生活センター高岡支所
 高岡市本丸町7-1
 本丸会館内
 ☎(0766) 25-2777

県政については
 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
 ☎(0764) 31-4111(代)
 31-3131(県民相談電話)
 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
 ☎(0766) 21-9411(代)
 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
 ☎(0765) 24-5311(代)
 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
 ☎(0763) 33-5151(代)
物価ダイヤル
 物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
 ☎(0120) 16-7400 (県庁県民生活課内)

県からのホットニュース 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。

テレビ広報 ●チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:30~9:45 「志の輔・陽子のふるさとトーク」 ●北日本放送 毎週日曜日 AM11:00~11:30 「こんにちは富山県です」※翌日同時時間再放送 9/8 ハイテクとハイタッチを目指して 9/8 下水道と生活 9/15 がん撲滅に向けて 9/22 ふるさと創生1億円パートⅡ 9/29 健康と体力づくり ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス・イン」	ラジオ広報 RADIO ●FMとやま 「ふれあいホットライン」 県内各地からホットな話題をク リアなサウンドでおとどけしま す。 毎週月~金曜日 AM9:30~9:35	新聞広報 NEWS/APER ●北日本、富山、読売、北陸中日、 朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」
---	---	--

編集後記

◆上平村での取材中に、旬の岩魚をいただきました。いけすに放してあるのをさつと網ですくい、すばやく調理。刺身と塩焼きをいただいたのですが、特に刺身はあっさりしていて、なおかつ歯ごたえがあり、思わずごはんをお代わりしてしまいました。しかしいけすにはなしてあるイワナ。何んとなく残酷なような……。イワナは何にもイワナいけれど……。 (T)

◆コロナネット「夏の親睦会」の取材。夏の強い日射しに、私の体はみるみるうちに真赤に日焼けし数日間その痛みに苦しみました。しかし、梅雨明けが遅れ夏らしい日も少なかった今年、マリンスポーツで楽しい一日を過ごせたことは、本当にラッキーでした。(A)

★「大量生産、大量消費の使い捨て文化は見直していかなければなりません」。みどりの会代表の佐々木桂子さん。今、自然環境の破壊や大量発生ゴミ問題などで地球はあえいでいます。佐々木さんが提唱する地球にやさしいライフスタイル。一人ひとりが実践していかなければ、本当に地球は減ってしまいます。みんなで守ろう、地球の命！ (M)



とやまの心象

「建築百選」以降

心遣いが

「街」を創る

「みづづかパブリックトイレ」

「富山の建築百選」以降、県内では景観などに貢献していると評価される建築や施設空間が、様々な形(コンセプト)で表彰されるようになった。その中でも一際目立ったのは、公衆便所を見直そうという動きである。

公衆便所、公衆トイレ、はたまた公衆雪隠と呼ばれるが使用目的は同じであり、暗い、臭い、汚い、怖い、というイメージが定着したマイナーな公共施設である。少し前までは、公衆便所に入るくらいなら我慢して帰宅を急いだものだが、近頃は水洗化や諸設備の充実によって、キレイを科学した施設が増えてきた。しかも、その施設の使用目的が単なる便所だけでなく、休息所や化粧室の機能を合わせ持った複合施設への脱皮を図ろうとしているようにも思われる。何れにせよ、建築デザインとしての「景観的貢献」と、都市空間の中で大きな位置を占める「機能的貢献」の両面において、その充実ぶりは評価に値するものである。

その典型的な事例が、富山市北新町にある「みづづかパブリックトイレ」である。この施設は、公衆便所という従来のイメージと比較するとかなり贅沢な仕様で造られている。店舗を含めた景観処理と合わせて、企画した経営者(光塚修氏)の卓越した見識が窺える。

「最初は周囲にも反対がありましたよ。たぶん鏡を割られたり、設備を壊されたり、落書されたりして汚されるのが落ちだというわけです。でもね、それなら清掃を徹底して、建築素材も贅沢なくらいに良いものを使えば、公衆のものでも汚されなんじゃないかって思ったんですよ。いい加減な安物で造ったり、清掃を怠るから汚されたり壊されたりするんですね。数年経ちましたが、まだまだ新築した時のままですよ。」

まさに、裏を返せば公衆便所と呼ばれてきたものへの痛烈な批判を含んだ話だが、彼の場合ただ批判するのではなく、自分でやれる精一杯のところで実行しているという行為がすばらしい。しかも、店舗の外に別棟として設け、来客でない人も気兼ねなしに使えるよう店舗入口と離すなどの工夫している点が、公衆便所の原点を忘れぬ心遣いを感じさせる。一流ホテルやデパートの中にあるトイレがすばらしいのは、来客



へのサービスとして料金に含まれるものと思えば当然であり、厳密には公衆便所と呼べるものではないようだ。「トイレ事情」は様々だが、公衆便所のより一層の試みに期待したい。どうやら、こんな心遣いがうらおいの「街づくりの原点であるらしい。」



写真／風間耕司(日本写真家協会会員)
文責／岡田順一(富山エディターサロン会員)

〔上／利賀村〕

〔下／大沢野町〕



地方の時代映像祭 '91
in 富山

地方はロマンの宝庫。
第十二回を迎える、テレビ映像の祭典「地方の時代」映像祭が、今年も富山で開催されます。
新しい時代を拓く、新しい映像をどうぞ心ゆくまでお楽しみください。

「地方の時代」映像祭とは……………

国内のそれぞれの放送局で放映されたドキュメンタリーや報道番組などのコンクールを行い、その優秀作品に「地方の時代賞」を授与するとともに、それに携る人々が集い、交流するテレビ映像の祭典です。昭和55年に第1回が神奈川県で開催されて以来、深く時代を見つめる映像として高い評価を得ている「地方の時代賞」の系譜は、一脈の地下水のように今も脈々とその清冽な流れをつづけています。

10月17日(土) (富山県民会館国際会議場)

- ・大賞・富山映像祭賞候補作品上映
- ・シンポジウム「地方の時代・女の時代」
～女性ジャーナリストたちの提言～

18日(金) (富山県民会館大ホール) 一般公開

- ・シンポジウム「地方は生きる」
～“水の王国”からの提言～
- ・表彰式
- ・'91受賞作品上映

ごらんになりたい方は、富山県広報課 (0764・44・3134) までお問い合わせ下さい。入場は無料です。
なお、一般公開は、10月18日(金)午前10時からです。



FIRST JAPAN EXPOSITION IN TOYAMA '92

第1回ジャパンエキスポ富山'92

会場 / 平成4年7月10日(金) - 9月27日(日) 80日間 会場 / 県民公園太閤山ランド